

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/29号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 70ドル台前半で底固い展開

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台前半でやや底固い展開になった。米債務上限問題の不透明感、ドル高が上値を抑えるも、改めて原油相場を売り込むような動きは見送られ、底固く推移した。年後半の需給ひっ迫化に対する警戒感、翌週からドライブシーズン入りを控えた季節環境もあり、底固く推移した。米原油、ガソリン在庫の取り崩しが進んでいることもポジティブ材料視された。

6月4日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合を控えているが、サウジアラビアのアブドルアジズ・エネルギー相が原油市場の空売り筋に対して警告を発したことで、追加減産など政策調整が行われる可能性が警戒されたことが、一時74.73ドルまで相場を押し上げた。しかし、その後はロシアのノバク副首相が新たな措置は検討していないと発言したことで、早めに調整売りが膨らんだ。イベントリスクとして注意が必要な状況ではあるが、事前に積極的に売買を仕掛ける必要性は認められなかった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（5月19日時点）は、原油が前週比1,246万バレル減、ガソリンが205万バレル減、石油精製品が56万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## ドライブシーズン入りで底固いが、週末のOPECプラス会合待ち

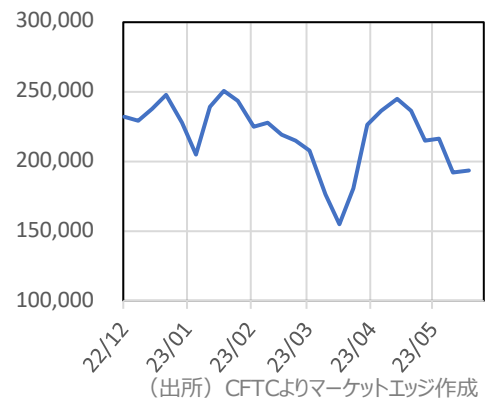
米債務上限問題の消化が進む中、原油需給主導の展開に回帰している。こうした中、国際エネルギー機関（IEA）が年後半の需給ひっ迫見通しを示していること、ドライブシーズン入りすることが材料視され易く、底固い展開が維持されよう。ただ、直ちに需給ひっ迫化が進む訳ではなく、6月4日にOPECプラス会合のイベントリスクを控えて、大きな値動きには発展しない見通しだ。

5月29日に米国はメモリアルデーを迎え、そこから名実ともにドライブシーズンが始まる。ガソリン需要の拡大期待を織り込む動きが強まると、ガソリン相場主導の上昇リスクが高まろう。特に、米ガソリン在庫は過去5年のレンジを下回っているため、更に在庫の取り崩しが進むと、買い安心感が強まろう。

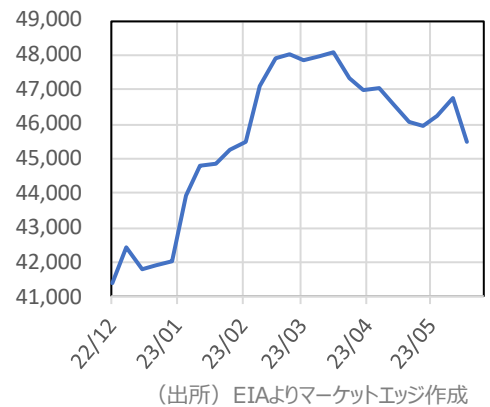
OPECプラス会合に関しては、現在の需給見通しであれば政策調整の必要性は乏しいだろう。年後半は供給不足から在庫の取り崩しが進む見通しであり、特別な政策対応が要求される環境にはない。ただ、ロシアが現行価格水準に満足感を示す一方、サウジアラビアは不満を抱いている模様であり、イベントリスクとしての注意は求められる。

米債務上限問題については、バイデン米大統領とマッカーシー下院議長が5月27日に基本合意し、31日にも議会で採決が行われる見通しになっている。そこでリスクオン化が進むと、原油相場も上振れリスクが高まろう。一方、前週はドルが大きく値上がりしており、更にドル高が進行すると調整安のリスクが高まろう。6月2日の5月米雇用統計を受けての米金利・ドルの動向にも注目したい。

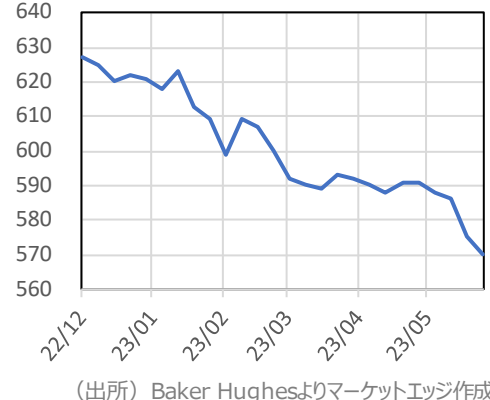
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

